

カテゴリー	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組 記載例	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	基本	環境	・廃棄物の種類・量など現状を把握して、削減のための計画を策定している など											○	○		○					
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	基本	環境	・省エネ診断、その結果を踏まえた省エネ計画の策定と推進 など							○						○						
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	基本	環境	・算定ツールなどを利用して温室効果ガス排出量を把握し、削減の計画を策定している など							○					○	○						
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	基本	環境	・法令で規制されている有害化学物質を把握し、削減のための計画を策定している など			○			○					○	○							
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境	・環境に配慮した材、製品、サービスの提供を通じて生物多様性保全に配慮している ・事業全体における生物多様性への依存と影響を把握し、大きな負の影響を削減するための計画を策定している など						○										○			
16	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	応用	環境	・自社の水源を含む水利用状況を把握し、使用量削減等の計画を策定している など						○													
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	応用	環境	・ISO14001、エコアクション21の取得 など			○			○	○					○	○	○	○				
18	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	応用	環境	・ウェブ等での環境情報公開、環境報告書の発行 など												○							
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	応用	環境	・工場やオフィスへの太陽光パネルの設置と利用、グリーン電力の使用 など							○						○						
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	応用	環境	・認証製品(森林、パーム油、ゴム、コーヒー等)プランテーションにより生産される原材料、天然水産物および養殖水産物の利用 ・非法材材を使用していないことの確認を行っている など												○	○	○	○				
21	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	応用	環境	・工場における資源利用の削減、資源の再利用、再資源化を進めている ・海洋汚染につながるプラスチック製容器包装への対応として、使い捨てプラスチック使用の削減等に取り組んでいる など						○						○	○	○	○	○			
22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	・汚職・贈収賄禁止等を含む行動規範の整備と社内浸透 など																	○		
23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	・不正競争行為を含む行動規範の整備と社内研修の実施 など																		○	
24	【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている	基本	社会	・特許、商標等知的財産権の取得・管理 ・製品開発における特許侵害調査 など									○	○									
25	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社会	・「個人情報に対する基本方針」を定めて公表するとともに体制を整備している ・社内研修を行い情報管理ルールの周知徹底を図っている ・EUの顧客データがある場合は、GDPR(EU一般データ保護規則)を踏まえた対応を行っている など																		○	
26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	応用	社会	・自社製品の原材料サプライチェーンの把握 など																		○	
27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害(低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等)の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)のための取組を要請している	応用	社会	・取引先との対話を通じた人権侵害防止等の取組状況の確認活動 ・Sedex(サプライヤー-エンカル情報共有プラットフォーム)等を活用したサプライチェーン上のリスク管理 など					○			○		○		○	○	○	○	○	○	○	

カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待 レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	記載例	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
28	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	経済	・製品・サービス使用時に想定されるリスクの洗い出しと対策 ・製品安全確保の観点で踏まえた取扱説明書の作成 など				○									○						
29	【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している	基本	経済	・顧客からのクレーム対応など、品質を保証する仕組みを構築 ・顧客の声を社内共有するための基本方針・体制・ルール策定 ・従業員向け研修の実施 ・ISO9001の取得 など											○								
30	【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	応用	経済、環境	・製品設計時におけるライフサイクルでの環境影響の把握 など							○						○	○	○	○			
31	【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	応用	社会、経済	・特定の社会課題解決をテーマとした製品開発の推進 など	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	基本	環境、経済	・地域との対話に基づく、事業の地域への影響の把握 など				○							○		○	○	○	○		○	
33	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	応用	社会	・地域の防災活動への参画 ・地域の次世代を担う人材(学生・子ども等)への交流・育成機会(キッズスクール等)の提供 など				○								○			○	○		○	
34	【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用(地産地消、地産外商)を行っている	応用	環境、社会、経済	・地域の原材料の優先的利用 など									○	○		○	○	○					
35	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内十分に浸透している	基本	社会	・社内報や掲示板等で法令順守(コンプライアンス)の重要性を全社員に向けて発信している ・コンプライアンス研修の実施 など																		○	
36	【内部管理体制】 ・経営理念(及びSDGsとの関係)・経営目標の社内への共有が行われている	基本	環境、社会、経済	・経営理念を明文化している ・経営者が適時、経営理念、経営目標を社員に伝えている										○	○							○	
37	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている	応用	社会	・法令順守(コンプライアンス)の方針、手順などの体制が整備されている ・内部通報制度(匿名性の保障や社外直通窓口など)が整備されている など																		○	
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている	応用	環境、社会	・責任者(担当役員)の任命、CSR管理者の任命 など																		○	
39	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている	応用	社会、経済	・リスクマップ等を活用してリスクの洗い出し、評価を行ったうえで、適切な対策を講じている など																		○	
40	【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR(Corporate Social Responsibility)の取組を進めている	応用	環境、社会	・CSR方針の策定、CSRマネジメントプロセスの整備 など																		○	
41	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している	応用	社会	・適宜ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握 など																		○	
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	応用	環境、社会、経済	・事業継続計画(BCP)の策定、定期的な訓練の実施 ・レジリエンス認証の取得 など											○		○	○				○	

